

第 69 回定期総会 荒木泰臣全国町村会長祝辞

本日ここに、全国町村議会議長会第六十九回定期総会が開催されるにあたり、全国の町村長を代表して、お祝いのご挨拶を申し上げます。

はじめに、ご列席の各都道府県町村議会議長会会長、事務局長の皆様には、日頃より、地域社会の振興発展のため、ご尽力いただいておりますことに敬意を表しますとともに、全国町村会の活動に対し、格別のご理解とご協力を賜っていることに、厚く御礼申し上げます。

また、先ほど、自治功労者及び他の範となる町村議会として表彰の栄に浴された皆様、並びに町村議会広報コンクールにおいて受賞されました皆様に、心からお祝い申し上げます。

さて、東日本大震災からこの3月で7年になります。私自身も被災地の現状を視察し、関係町村の皆様の献身的なご尽力により復興が進められている状況をお伺いしました。そして今なお多くの方々が避難生活を余儀なくされ、原発事故の影響を受けた地域では、復旧が緒についたばかりであることなどに思いをいたしたところでございます。

また、一昨年の熊本地震では、私自身被災地の町長として、全国の皆様から暖かいご支援をいただき、大きな心の支えとなりました。お互い助け合うことの尊さをあらためて実感しております。地域の安全を守ることは、私たちの使命です。地域防災力の一層の充実強化を図るため、引き続き万全の財政支援措置等と全国的な防災・減災対策の強化を国に求めてまいりたいと存じます。

また、町村が自主性・自立性を発揮し、安全安心の地域社会づくりや地方創生の取り組みを進めていくためには、何よりも財政基盤の強化が不可欠であり、安定した財源の確保、とりわけ町村の生命線ともいえるべき地方交付税の確保が重要であります。

昨年末決定されました、平成30年度の地方税制改正および地方財政対策では、厳しい状況の中、野田総務大臣をはじめ、本日もご臨席の奥野副大臣にもご尽力をいただき、我々が納得できるものとなりましたが、今後とも安定した地方財源の確保を強く訴え続けていかなければならないと考えております。

さらに、来年度税制改正において、町村の長年の悲願でありました森林環境税が実現し、森林整備等に必要な恒久的で安定的な財源が確保さ

れることとなりました。これまで多大なご努力を傾けてこられた町村議会の皆様をはじめとする関係者の皆様に厚く感謝申し上げます。

全国町村会といたしましては、全国町村議会議長会と一致協力し、元気で活力ある町村の創生に向けて、引き続き強力に活動して参る所存でありますので、皆様のなお一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

終わりに臨み、全国町村議会議長会の益々のご発展とご列席の皆様の健勝をお祈り申し上げ、お祝いのご挨拶とさせていただきます。

平成 30 年 2 月 8 日

全国町村会長 荒木 泰臣